

おやじの会

ある中学生のお父さんの一言が今も胸に残る。
「父親が学校に行ってもいいの?」

母親にはかなわないけれど、父親も我が子のために日々頑張っているはずだ。そんな彼らには、堂々と学校に来て、我が子の姿をたくさん見てもらいたいと思った。小中学校にある「おやじの会」が学校と父親の懸け橋になってくれればと願う。

私は5歳の時に父を亡くした。だから私の父は息子たちの学校生活を見ていない。無念だったと思う。父親にとっても成長期の我が子の姿は人生の宝物なのだから。

教育委員 福島 鉄典



歩く速度で ～私流、ウォーキングのすすめ～

自宅から徒歩で片道25分のところにある小さな社に、元旦を節目に願掛けで始めた早朝の参拝。かれこれ10年以上経つ今なお続けているのは、願いが成就したこと以上に副産物が大きかったからです。体調がすこぶる良くなっただけでなく、前日の夜にあれやこれやと考えあぐねていたことも、季節の移ろいを肌で感じながら一步一步あゆみを進めていくうちに、自然と頭の中が整理され、自宅に戻る頃には不思議に考えがまとまっているのです。思い起こせば、新任校長時代に地域に伝わる「音頭」の歌詞の補作を依頼されたときのこと。自分にそんなことができるのかと躊躇しつつもいざ始めてみると、体に染みこませたメロディーを感じながら踏み出す一步に合わせて、天から言葉が降りてくるような不思議な体験をしたのも早朝のウォーキングの最中でした。更には、かじかむ手をぎゅっと握りしめて足早に歩く冬枯れの畦道で、春一番に咲くと言われる「イヌノフグリ」の小さな紫色の花を見つけた時の、小躍りしたくなるような感動にも出会うことができました。

今、世の中がどんどん便利になり、私たちの生活は効率化の一途をたどっています。時間的にも物理的にもロスなく移動できたり、欲しい物や情報が簡単に手に入るようになりました。しかし、人と人の関係性に限っては「効率化」に走るべきではないと思っています。互いに顔を合わせ、思いや考えを伝え合い、ときにぶつかりしながらも時間をかけて分かり合っていく…… そのような過程を踏んでこそ、揺るぎない信頼関係が築かれるのではないのでしょうか。

教育委員会と学校、保護者、そして地域の皆様との関係も、一步一步、歩く速度で、しかも確実に強めていけたらと願っています。

教育長 青木 千津子



台風

元号が変わり、誰もが穏やかなスタートを望んでいる中、令和元年10月12日に日本列島を縦断した台風19号は、全国各地に大きな爪痕を残した。本市においても広範囲にわたって河川の氾濫、土砂崩れなどで甚大な被害をもたらし、多くの市民の方々が避難生活を余儀なくされた。私もその一人である。私は、カスリーン台風が関東地方を直撃した夜中に産声を上げた。幼い頃から、当時の台風の様子と自然災害の怖さについて親から何度も聞かされた。それ以降、我が家では、ラジオから台風接近を聞くと、きまって父親は全ての雨戸を閉め、その上から大きな板を釘で打ち付けていた。母親は、ちやぶ台にろうそくとマッチを置き、釜で炊いたばかりの米をおにぎりにし、大皿に盛っていた。蚊帳の中で子ども心にドキドキしていたことを思い出す。今のようにテレビ、エアコン、冷蔵庫、電子レンジなどの電化製品が無いなかで、ラジオからの情報だけに頼って夜明けを迎えたこともあった。今では電力や水道に依存する暮らしが当たり前となっている。5年前に本市を襲った豪雨は50年に一度の自然災害と言われた。しかし、今回の台風が残した被害は甚大で、将来に向けて大きな不安と課題を残した。各園や学校など教育施設にも被害が広がり教育活動に多大な支障をきたした。

教育委員会では、子ども達が安心して学べる教育環境整備に全力で取り組んだ。防災教育の見直しも喫緊の課題である。桜の花が咲く頃には、被害を被った方々のご自宅が少しでも整理され、くつろげる住み家になっていること、そして、強くて優しい素敵な栃木市に一日も早く戻ってほしいと心より念ずるばかりである。

教育委員会では、子ども達が安心して学べる教育環境整備に全力で取り組んだ。防災教育の見直しも喫緊の課題である。桜の花が咲く頃には、被害を被った方々のご自宅が少しでも整理され、くつろげる住み家になっていること、そして、強くて優しい素敵な栃木市に一日も早く戻ってほしいと心より念ずるばかりである。

教育長職務代理者 後藤 正人



(大平西小学校のようす)

【編集後記】

“教育委員会だより 絆” は市民の皆様にも、教育への関心を一層高めてもらうため、‘開かれた教育委員会’としての活動を「分かりやすく」「親しみやすく」紹介していきます。

※ご意見・ご感想は 栃木市教育委員会教育総務課 〒328-8686 栃木市万町9-25
こちらまでお寄せください。 電話：0282-21-2467 FAX：0282-21-2689 Email：kyoumu@city.tochigi.lg.jp

FMくらら857 教育情報コーナー「月刊 教育委員会 SEASON 3」

栃木市の教育について、ラジオというメディア媒体を活用した広報活動を行っています。
放送日時は、毎月、第3金曜日の午前11時～11時53分。
毎回ゲストをお呼びして、教育現場の様子や開催イベントのお知らせをしています。